

超速硬セメントと高分子材料を用いた 低強度安定処理工法

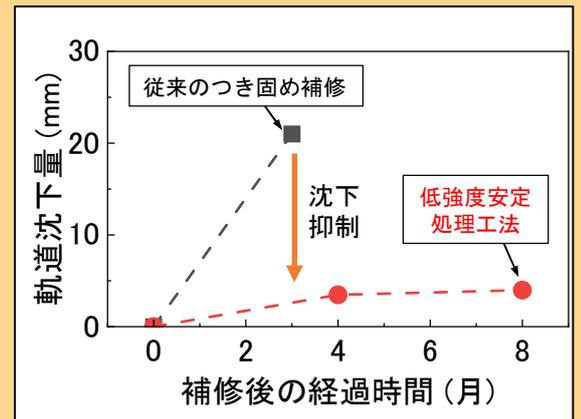
軌道・路盤研究室

- ◆ 経年劣化したバラスト区間の沈下急進箇所(噴泥等)の沈下対策として有効です。
- ◆ 通常につき固め保守時に補修材を投入することで沈下抑制効果を発揮します。

概要 細粒分が増加し、噴泥が生じるなどしたバラスト軌道は沈下進みが大きくなりますが、タイタンパを用いたつき固め保守の際に、超速硬セメントと高分子材を併用した補修材を混合することで劣化したバラストを低強度で安定処理し、つき固め保守効果を大きく改善することができます。安定処理後もつき固めが可能です。



施工の方法



現地試験施工による保守効果の検証例
(噴泥が発生した継目部)

グラウト充填による路盤改良工法

軌道・路盤研究室

- ◆ 剛性の高い路盤改良層により軌道沈下を抑制します。
- ◆ 2~3時間程度の施工間合いでも路盤改良層の構築が可能です。

概要 バラストを骨材とした路盤改良層に後からグラウトの充填を行う工法です。路盤材の置換作業とグラウト充填作業を別の日に行うため、短時間間合いでも効率的に作業を行うことができます。グラウトにはセメント系の材料を用いるため、剛性の高い路盤改良層が構築できます。

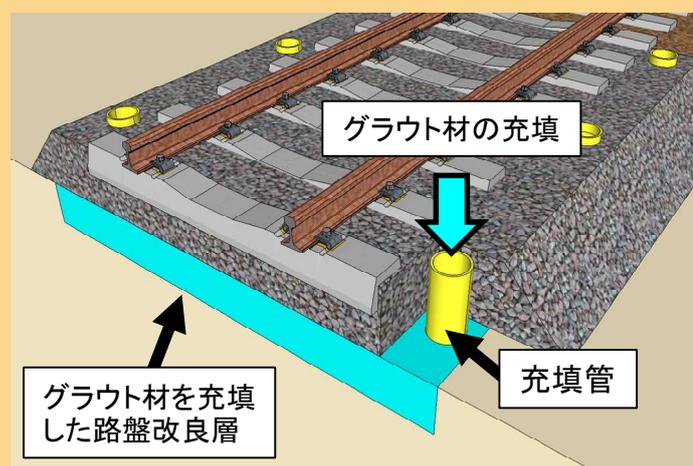


図1 路盤改良のイメージ



図2 グラウト材の充填状況